

発行 日本音楽療法学会

理事長 日野原重明 副理事長 松井 紀和

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 浜松町一丁目ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337



## 日野原理事長の文化勲章 受章によせて

日本音楽療法学会 副理事長

松井 紀和

日野原先生が、昨年11月に文化勲章を受章されたことは皆様よくご存知のことと思います。学会員としては誇らしくもあり、嬉しくもあり、心からお祝いの言葉を贈りたいと思います。

さて、日野原先生は、本学会結成以来、実質的リーダーとしてご活躍戴いておりますが、数少ない明治生れの方の中でも、何等支障なく理事長役をこなしておられる姿を常々拝見していて、75歳の私も未だ未だ青年のような気がしてくるわけです。色々な困難があっても、きっちりとリーダーとしての役を果たしておられる姿を見ると、私等は只々頭の下る思いで、助けなければならぬ立場に居ながら、逆に助けられているような気さえしてきます。

私が実際に先生のお話を直接伺ったのは20年程前ですが、その時に大変感動したことを憶えています。それは、先生が長い間医療の主人公は医師や医療職ではなく、患者本人なのだという主張をされていることを知ったからです。私は実は、精神医療の中で、患者様を中心にした医療をしなければという思いを持ち、医療の改善を目指して臨床実践や社会的運動を進めて来ていたので、先生の主張に大変勇気づけられたことを思い起します。その後、音楽療法実践者の大同団結が是非必要だという多くのこの道の先達の思いが持ち上り、やがて、御存知のように、全日本音楽療法連盟が結成されるようになった頃から、かなり頻りに先生にお会いし話をする機会が増えたわけです。

この間、学会活動とは別に、色々な御著書を出版され、それがベストセラーになり、色々な所に引張り出される機会が増え、益々多忙な毎日になりました。

昨今、日野原先生というと、94歳で現役の先生ですねと返ってくるのが多く、また、著作を読まれてファンになったと仰有る方に時々お会いします。また一度お越し戴きたい、そしてお話を伺いたいものだと思っております。つまり、先生は、一般の方々によく知られるいわゆる有名人になってしまわれたわけです。これは決して先生が望まれたわけではないと

推察していますが、私は、世の中が先生を必要とするようになって来たのだと思っています。たとえば、終末医療を通して生きることを意味を問い直すとか、医療の主人公は誰なのかとか、健康な老後とはどんな生き方なのか等々、医療や福祉に対する人々の考え方がやっと先生に近づいて来たのであろうと考えています。

また、先生は多くの共同者を大事にして支援もしておられます。医療が医師だけでできるわけがないし、福祉が単一の職種でできるわけがありません。看護を始め、色々な職種の人が協力しあってはじめて好ましい援助が可能になるという考え方に立って、多職種の育成に尽力されています。本学会の理事長を勤めて戴いているのも、恐らくそうした考え方に立ってのことであろうと思います。

私達学会員も色々な考え方の人が集っていますが、こうした基礎的な所は同じ土俵に立っていると良いと思います。

障害のあるなしに拘らず、その人がその人らしく生きていることを健康と私は考えていますが、そのために音楽を媒介として支援していこうというのが音楽療法であり、そのために必要な知識や技術を身につけた者が、音楽療法士であります。

学会が、より質の高い音楽療法を目指し、それに携る人を養成しなければならぬわけですが、それには、未だ未だ、多くの時間と労力が必要になるでしょう。

日野原先生が益々お元気で、私達をお導き戴き、音楽療法の普及、啓蒙と質的向上に向けて尽力下さることを祈念し、受章のお祝いの言葉にかえたいと思います。



2005年12月27日



文化勲章

## 第6回日本音楽療法学会学術大会（仙台）へのいざない

大会長 遠藤 安彦

春は名だけの……、南北に長〜い日本列島を思い知らされた今年の春は、雪と低温の東北を皆様に強く印象付けたのではないのでしょうか!? 全国の会員の皆様方にはそれぞれの環境の中、それぞれにご健勝にて実践、研究等々にご活躍のことと存じます。

さて、第3次案内をお送りいたしました第6回学術大会（仙台）は、もうすぐそこまで開会の日時が迫ってきております。新年度の煩雑さと夏休み前の諸行事等々を考えただけで、中3ヶ月はすぐに過ぎてしまうでしょう。実行委員会のもとより更に拡大された拡大実行委員会が、それぞれの役割の元に細かい準備をするようになってきた今日、多くの会員の皆様を参加者としてお迎えするために、本当に親身になって、細部にわたる準備に一丸となって努力しているところで

今回の大会テーマ「音楽療法における“感”と“知”を考える」については、初来日という2005年音楽療法世界大会の基調講演講師を務められたパヴリチュヴィック博士に基調講演をお願いしてありますが、21世紀の音楽療法士のあるべき姿についての貴重なお話が伺えそうで楽しみです。また、多田先生の「耳を澄ますーからだ と こえー」と題する自然、芸術、音楽へ発展する講演にも、興味を大にするものがあります。

講習会にも大きな特徴があります。「教わる」から「自らが学ぶ」を合言葉に、講習会委員会を中心に〔新しい〕講習会の持ち方、講習会の受け方を検討した結果が、第2次案内および第3次案内にみられるスタイルです。十分に受け応えを感じる4コマではないでしょうか。講師の先生方もすこし傾向が変わって、複数のクラスの希望に選択を迷われていらっしゃるかもしれませんね。《事前研修課題》についても、『そう、必要だね』と取り入れました。

そうです、研究発表にも〔新しい〕様式です。実行委員会では、こんな手間隙かかることは無理だ!と何度も取り下げられそうになったのですが、誰のための学術大会?! 今やらなければ!という（仙台大会の）基本方針を貫いて、20分と30分の発表時間希望選択受付を実施しました。

東北で出来ること、東北だから出来ること、東北でしか出来ないことを常に念頭に、更に前述した会員のための学術大会の企画運営を、そして交流会でもそれを活かしてと企画立案中ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。

8月末の仙台は、もう短い夏の終わりなのですが、時折残暑の厳しいこともあります。クールビズもさることながら、今年は暑く・熱く燃える学術大会ということで、ご案内申し上げる次第です。

（8月25日講習会、26・27日学術大会）

## ■ 日本音楽療法学会 音楽療法士（補）試験実施要項（抜粋） ■

わが国においては1997年に全日本音楽療法連盟の資格認定制度が開始されました。当時、音楽療法士養成課程を有する学校はきわめて少数であり、当然ながら試験制度は採択されませんでした。代わりに、現在にいたるまで臨床の経験を重視した暫定的な処置による音楽療法士認定がなされてきた経緯があります。

しかし同連盟は暫定的な認定制度と並行して1996年に大学や専門学校での教育へのガイドラインとして音楽療法士養成カリキュラム96を制定しています（現在は改訂されたカリキュラム01が制定されています）。その後、幾つかの大学、専門学校などにおいてこのガイドラインを基本にした音楽療法士養成コースが設置され、近年になりそれらのコースの卒業生が誕生するようになりました。

これらの卒業生は学会が定めたカリキュラムに基づいて教育訓練を受けた者であり、これらの教育を受けていない者と

は異なる基準で資格認定が行われなくてはならないはずで

す。以上の経緯により、学会により教育カリキュラムの審査を受け承認された大学や専門学校の音楽療法コースの卒業生を対象に音楽療法士（補）認定試験が2001年度より実施されることとなりました。

この試験は各受験者の音楽療法に関する全般的な知識を指定カリキュラムに基づき広い範囲にわたり尋ねるもので、受験生の基本的な知識と能力、また音楽療法士としての適正を確かめる目的で行なわれます。

この試験に合格した者は日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）の資格を得ることができます。この資格は、本人の音楽療法活動の臨床経験が3年をこえる時点で改めて学会に申請すれば（臨床事例報告審査と面接を経て）正式に音楽療法士として認定されます。

1. 試験の日時および会場：《2006年度は→2007年1月14日、日本教育会館》
2. 試験科目：音楽療法科目を中心に、カリキュラムガイドライン01に含まれる教科全般。
3. 受験資格：本学会から教育カリキュラムの審査を受け承認された大学ならびに専門学校等の音楽療法コースの卒業生および見込生。
4. 受験手続：
  - (ア) 学会事務局への受験申請を行う。なお記入に際しては戸籍に記載されている氏名を使用する。
  - (イ) 事前に受験手数料1万円を日本音楽療法学会に振り込む。
  - (ウ) 申請には以下を同封して、日本音楽療法学会へ送付する。
    - ① 受験申請書（該当の教育機関に学会より送付します）。
    - ② 単位取得証明書 なお、専門学校にあっては高等学校卒業後における各種教育機関における単位取得証明書を添付しなければならない。
    - ③ 既卒者は卒業証明書（卒業見込みの者は下記9を参照）。
    - ④ 受験票送付用の 返信用封筒（長形3号サイズ、自分の宛先を記入して、80円切手を貼付する）。
    - ⑤ 受験手数料振込控 のコピー。
  - (エ) 受験時には受験票と本人の写真の付いた証明書（学生証、運転免許証など）を持参する。
5. 試験はマークシートを用いて多岐選択形式で合計150問（試験時間は合計2時間30分）。  
受験票、筆記用具（HB鉛筆数本と消しゴム）および時計のみ会場の卓上に置くことができる。
6. その他、試験時に特別な援助などの必要がある場合は事前に事務局に申し出てください。また当日欠席などによる返金はいたしません。
7. 受験申込期間 《2006年11月20日（月）～12月1日（金）までに学会事務局へ必着》
8. 合格者の発表 《2007年2月初旬（審査結果は受験者本人に文書にて通知）》
9. 合格者のうち、卒業見込みの者は卒業後、卒業証明書を当学会事務局へ送付してください。（既卒者は不要）。送付してきた者について当学会音楽療法士（補）の資格証明書を発行します。（既卒者には合格発表と同時に発行します）。この証明書は、正規の当学会音楽療法士の資格認定申請時に必要となります。

## ■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

### § 北海道支部

【事務局】〒064-0916 北海道札幌市中央区南16条西7丁目1-7-406 久村研究室内  
TEL & FAX 011-520-2605

2006年度支部総会ならびに第9回研修会

開催日時：2006年5月28日（日） 9：30～17：00（予定）

開催場所：札幌市中央区北4条西6丁目 毎日札幌会館6F  
北海道医療大学サテライトキャンパス講堂

問合せ先：上記事務局

### § 東北支部

【事務局】〒020-0063 岩手県盛岡市材木町2-20 近文商店2階  
FAX 019-651-7838 緊急 090-6252-5282

※支部学術大会は現在企画中につき、詳細は学会ニュース12号でお知らせします。

### § 関東支部

【事務局】〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学 郡司研究室内  
FAX 047-365-1145

第6回支部大会

開催日時：2006年12月2日（土）、3日（日）

開催場所：（財）海外職業訓練協会（OVTA）（千葉県千葉市）

大会長：宇佐川 浩

問合せ先：上記事務局

※詳細は5月会員各自にお知らせします。

### § 信越・北陸支部

【事務局】〒950-2003 新潟県新潟市東青山1-11-17  
TEL & FAX 025-231-9283 E-mail cobaman@nifty.com

第4回学術大会

開催日時：2006年6月24日（土）、6月25日（日）

開催場所：富山県富山市大手町1-2 富山国際会議場

問合せ先：〒930-0934 富山市藤の木台1-13-4 大会実行委員会事務局

FAX 076-420-8361 E-mail sekine@alpen.or.jp

または、E-mail ebihara@hmt.u-toyama.ac.jp

※支部事務局が上記へ移転しました。

### § 東海支部

【事務局】〒453-8540 愛知県名古屋市市中村区稲葉地町7-1 名古屋音楽大学内 栗林研究室  
TEL 052-411-1115（代） FAX 052-413-2300（代）

2006年度研修会・支部総会（開催済み）

開催日時：2006年4月8日（土） 10：00～16：00

開催場所：静岡英和学院大学

※次の大会の開催情報は学会ニュース12号に掲載します。

### § 近畿支部

【事務局】〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内  
TEL & FAX 0774-25-2438 E-mail jmtak@guitar.ocn.ne.jp

2006年度支部大会・講習会・総会

開催日時：未定

開催場所：未定

問合せ先：上記事務局

### § 中国支部

【事務局】〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学 木村敦子研究室内  
TEL & FAX 082-814-3161 E-mail jmta-cc@h-bunkyo.ac.jp

第6回支部大会・総会 第8回講習会

開催日時：2006年7月29日（土）、30日（日）

開催場所：くらしき作陽大学

問合せ先：上記事務局

第9回講習会

開催日時：2006年11月

開催場所：未定

問合せ先：上記事務局

## § 四国支部

【事務局】〒783-0049 高知県南国市岡豊町中島1521-1 介護老人保健施設「夢の里」内  
TEL 088-866-6666 FAX 088-866-6783

第3回四国支部学術大会・定期総会

開催日時：2006年9月9日（土） 10：00～17：00

開催場所：高知市周辺

内 容：学術講演、演題発表、ポスター発表等を予定

申 込 等：6月上旬頃までに、詳細の案内を発送予定

問合せ先：上記事務局

## § 九州・沖縄支部

【事務局】〒807-0846 福岡県北九州市八幡西区里中3-12-12 八幡厚生病院内  
TEL 093-691-3344 FAX 093-603-7213

支部講習会

開催日時：2006年7月23日（日） 10：00～16：00

開催場所：エムアールティ・ミック エメラルドホール（宮崎市橋通西4丁目6-3）

内 容：「講演」 講師 齋籐考由先生

「音のワークショップ」 蒼田真理先生（オルフ研究所講師）

エダー・ディトマー先生

参加費：3000円

※申し込み方法等、詳細は後日お知らせします。

支部大会

開催日時：未定（2007年3月予定）

開催場所：アクロス福岡（予定）

問合せ先：上記事務局

## 学会事務局からのお知らせ

### ■ 第7回日本音楽療法学会学術大会開催決定のお知らせ

---

- 日 時：2007年9月7日（金）・8日（土）・9日（日）
- 会 場：札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）
- 大会長：久村正也（日本音楽療法学会北海道支部長）
- 大会テーマ：未定

\* 大会案内は順次お知らせします。

### ■ 2006年度研修・講習会開催のお知らせ

---

- 日時：2007年3月3日（土）・4日（日）
- 会場：日本教育会館一ツ橋ホール（東京都千代田区）

\* 詳細は次号でお知らせします。

### ■ 2006年度資格審査、資格更新審査のお知らせ

---

#### 資格審査

- 第11回の資格審査のための申請受付期間は、2006年10月2日～10月16日です。

\* 16日（月）必着

- 必ず日本音楽療法学会版の申請書（認定規則）を取り寄せて申請してください。

\* 申請書（認定規則）の取り寄せ方法

240円切手を貼った返信用封筒（A4サイズ、必ず宛先を書いてください）と500円の定額為替を同封して、事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）

\* 書類審査結果は11月下旬に通知します。なお、書類審査合格者には面接試験（12月16日（土）・12月17日（日）のいずれか1日、会場は東京）の案内が同封されます。

## 資格更新審査

- 今回は第6回認定者が対象となります。
- 第6回の資格更新審査のための申請受付期間は、2006年10月17日～10月31日です。  
\*31日(火)必着
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りする申請書類(資格更新規則/同細則の日本音楽療法学会版)にて申請してください。また、申請書(資格更新規則/同細則)を紛失された方は上記、認定規則と同じ方法でお取り寄せください。
- 猶予を申請される方も上記の受付期間に申請してください。

いずれの最終審査結果も2007年2月初旬に通知されます。

また、証明書類は現物とコピーの提出となりましたのでご注意ください。現物は返却しますので、必要な切手を貼り宛先を書いた封筒(A4サイズ)を同送してください。切手の額については重量によって異なりますので郵便局にてご確認ください。なお、配達記録にて返却しますので通常料金に210円加算して切手を貼付してください。

なお、各規則の内容に関するご質問は、事務局では判断しかねますのでご遠慮ください。

## ■ 会費(年会費)納入のお願い

2006年度新年度が始まりました。年会費は別便にてお送りしました専用の振替用紙にて早めにお納めいただきますようお願いいたします。

|      |         |      |            |
|------|---------|------|------------|
| 正会員  | 10,000円 | 学生会員 | 6,000円     |
| 購読会員 | 6,000円  | 賛助会員 | 50,000円/1口 |

振込先 郵便振替口座 ○加入者名: 日本音楽療法学会  
○口座番号: 00120-9-657711

## ■ カリキュラムガイドライン01の取り寄せについて

120円切手を貼った返信用封筒(B5サイズ、必ず宛先を書いてください)を同封して、事務局へお申し込みください。

## ■ 第5回認定音楽療法士(補)認定試験問題解説集が発行されます(2006年5月15日発行予定)

2001年に発表された「カリキュラムガイドライン01」適用の音楽療法コース卒業生を対象に、2006年1月15日、第5回の認定試験が実施されましたが、この度、この試験問題の解答と解説集が発行されます。昨年度(2006年1月15日)の受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外の方で入手希望の方は200円切手を貼った返信用封筒(B5サイズ、必ず宛先を書いてください)と1,000円分の定額為替を同封して、学会事務局へお申し込みください。

## ■ 学会誌バックナンバーのお求めについて

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌のバックナンバー購入につきましては学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社  
TEL: 03-3813-6751 FAX: 03-3818-4634

## ■ 事務局への各種お届けについて

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで区分変更の届出をお願いします。正会員から学生会員へ変更を希望される場合も事務局へ届け出てください。(学生証のコピー添付)

また、市町村の合併により住所に変更があった会員の方も、事務局まで住所変更を届け出てください。

## ■ お詫びとお知らせ

学会誌 Vol.5/No.2 2005 (2005年12月31日発行) の228～231ページ、書評において著者名が抜け落ちておりました。お詫びしてお知らせします。

| 書名                          | 著者名                      |
|-----------------------------|--------------------------|
| P.228 「ミュージック・セラピスト・ハンドブック」 | Suzanne B.Hanser 長坂希望(訳) |
| P.229 「子どもとつくる音楽」           | イレーネ・ストリーター 稲田雅美、石原興子(訳) |
| P.231 「知的障害のある子どもへの音楽療法」    | 遠山文吉                     |